

'82年度 オニ期テーマ 仲間意識

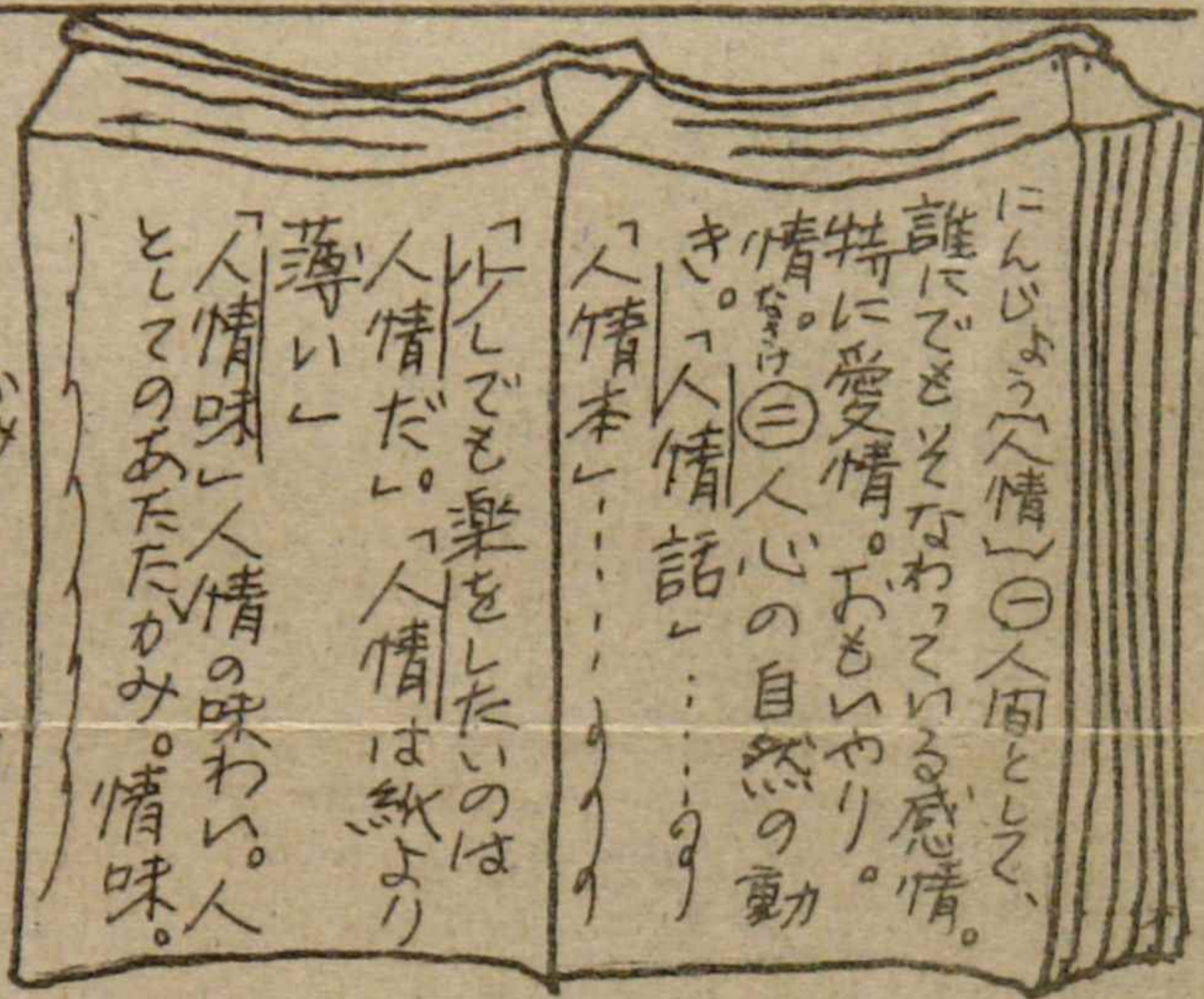
9月のテーマは 歴史にみる 釜ヶ崎人情

夜間学校ニモ

人情とは!!

釜ヶ崎夜間学校
西成区萩の茶屋 2-8-18
喜望の家気行
電話 六四七、三九四六
(不眠日夜七時～九時)

人情とは何やろう。人によっていろいろな考え方があろう。先回、夜間学校で、意味をはっきりさせた方がいい。辞書で、人情という言葉の定義からはじめよう、との参加した仲間からの発言があり、さうそう辞書を用いてみました。



人情は紙より薄い。

就労申告書廃止絶対反対！
一才的廃止は、われわれに一才的の不利を押しつけてくるのです。今こそ抗議の声を！「おらん取手へー!!」

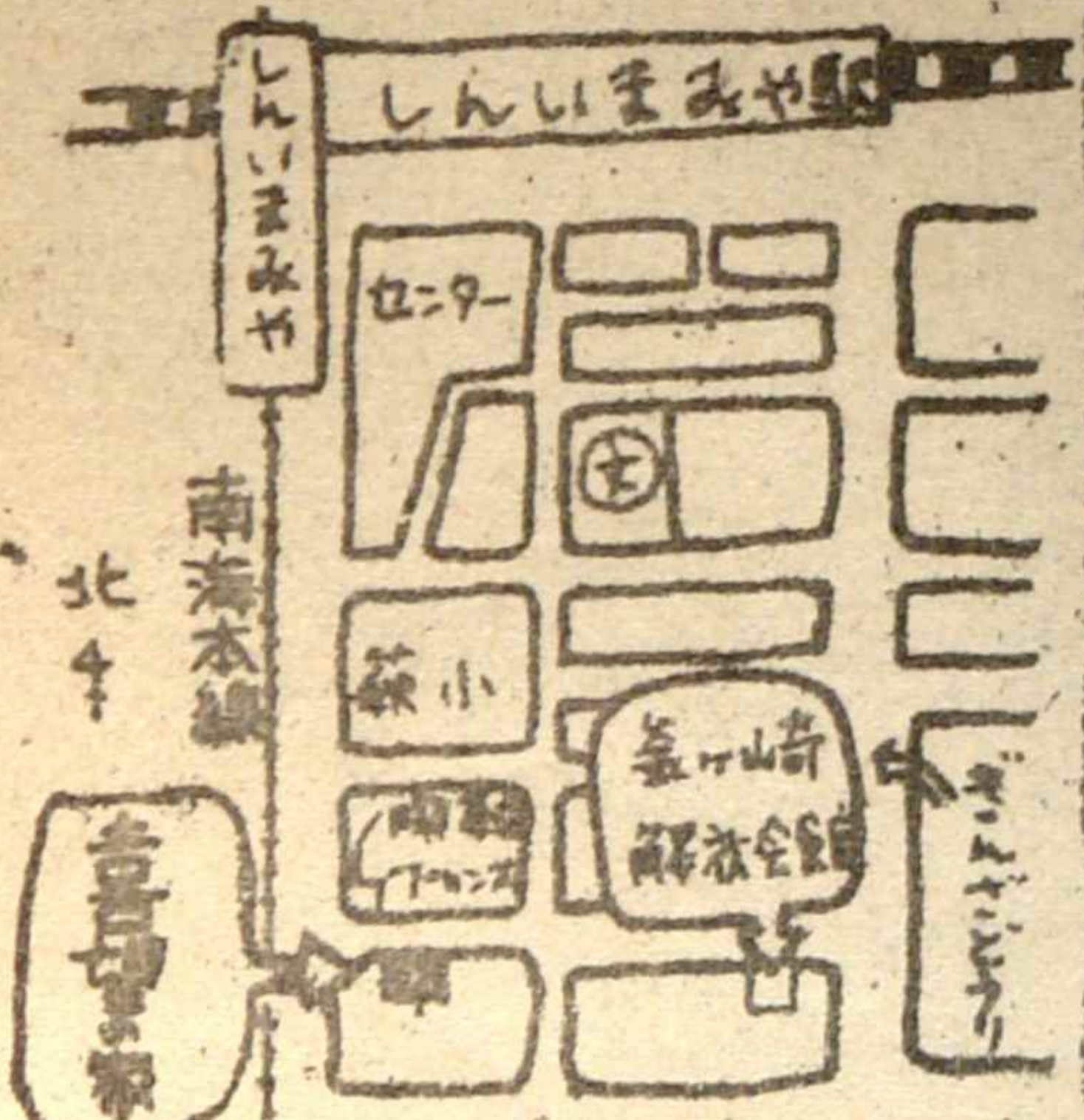
世間ではすたれたはずの人情と、どっこの釜ヶ崎では生きている!? この前の夏の祭りのどど自慢では、多くの仲間が歌ったあの歌。どこか身にしみることろか、あるのでしょうか。

釜ヶ崎人情
もろ唱平 作詞
三山 敏 作曲

①立ちん坊人生 味なもの
②通天宮ええ 立ちん坊サ
③だれに遠慮がいらじやなし
④びんわり待って 出なおう
⑤ここは天国 釜ヶ崎
⑥ここは天国 釜ヶ崎
⑦身の上話に おちがつき
⑧ここまで落ちた
⑨恨性まる出し まるはだか
⑩義理ど人情と ドヤとある
⑪ここは天国 釜ヶ崎
⑫ここは天国 釜ヶ崎
⑬命があつたら 死にはせぬ
⑭あくせくせんども
⑮七分五厘で 生きられる
⑯人はスラムと いうけれど
⑰ここは天国 釜ヶ崎
⑱ここは天国 釜ヶ崎
⑲ハイジーンで一曲歌いま
⑳しようか?

時の移り変わる人情
赤文らぬ人情

人のいるところ人情ありとはあたりまえ。しかし心では思っているも、なかなか行動できにくいという状況もあるのは確かです。しかも、新聞などでは、荒れはた釜ヶ崎にも人情があったと書いては、わしらの人情を売りものにしてみました。そこで、やられな原則に、人情を考えることで、仲間意識を深めていきたいと思います。



『二期の9回報告』

歴史にみる釜ヶ崎人情

釜ヶ崎人情は今なお存在するのだから

でも本当に釜ヶ崎人情」というのがあ
 のでしようか。歴史の流れの中での仲間意
 識の変化—人情の変化—について今日
 は話し合おうことになりました。

釜ヶ崎人情?!

Aさん 「戦後まもなくは人情があったが、現
 在は薄くなっている様だ。」

Bさん 「人情情け。今は自分のことだけ
 で一杯。人のことまで手を出す
 ことが出来た。」

Cさん 「人情についてはあまり考えない。昔
 から人情はなかったと思う。」

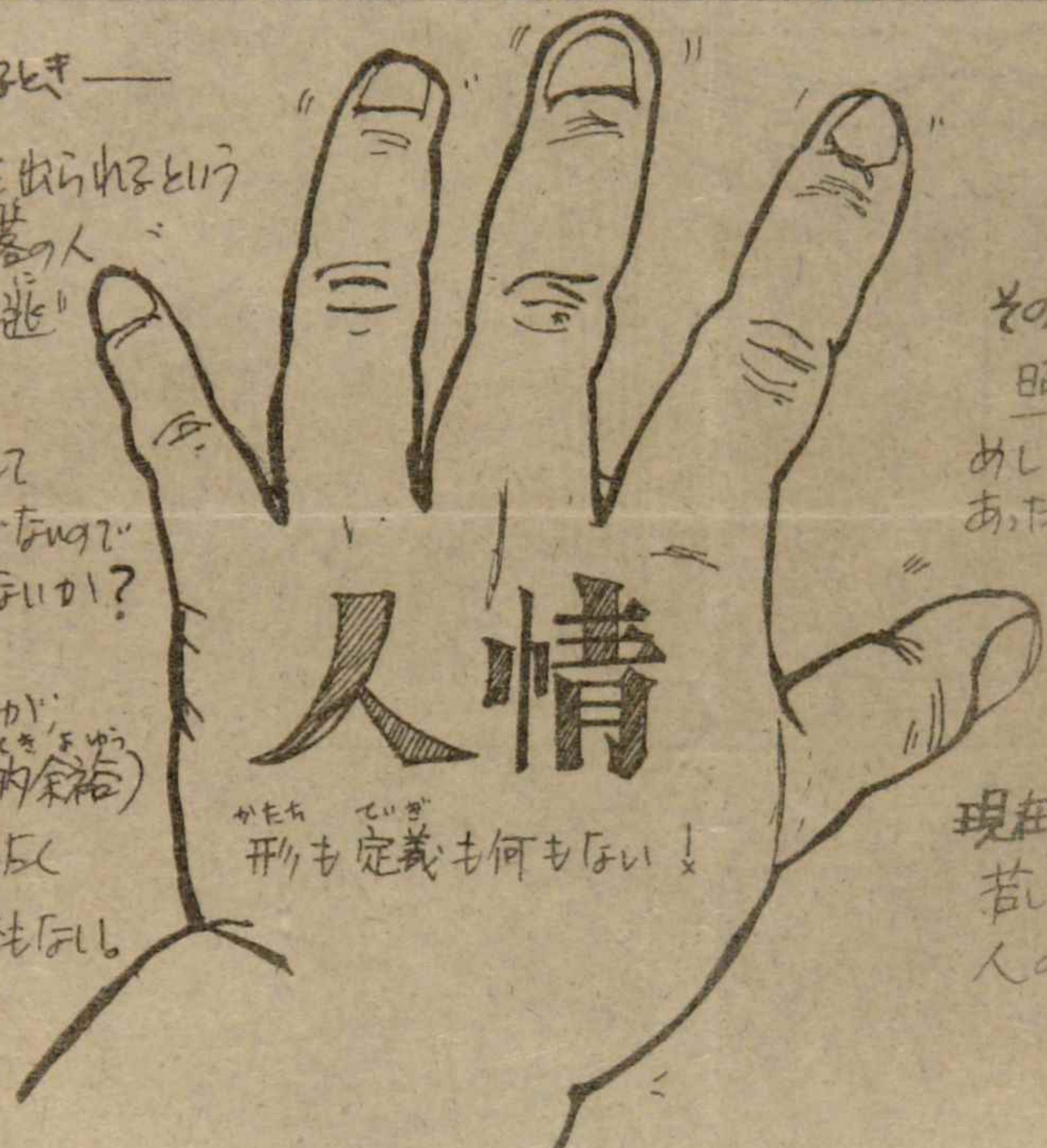
Dさん 「自分自身を振り返らると
 思う。」

連帯感について考へるべき

釜の人間はいつでも釜を出られよう
 気持ちはあるが、部落の人
 はその土地から絶対に逃
 げられない →

釜では根をありし
 やつていく連帯感かたがた
 はあるか?

昔も生活は苦しかったが、
 人情味はあった(気分的余裕)
 しかし、今は仕事がめんど
 りから、その余裕もない。



その昔

昭和7.8年頃

めし屋のあはちやんやあちやん達の心が
 あたかかった。その日仕事に行く前、お金か
 なければ、弁当に店の押入れに渡して
 くれて、「お金は後から持ってきたら
 だ。」

現在

若し、いざ人がいけなくなるといふE11か
 人の目が気になる。—人情は昔、218の
 出せぬ
 子で、急善者のように見られよう。

形も定義も何も無い!

Eさん 「見返りを望まなければ
 釜ヶ崎人情は最高!」

Fさん 「下層人民は人情に厚くない
 ものだからとされている。それを
 ただマスコミが取り上げて
 いるのにすぎないのでは。」

社会の動きで人情が規制されていく。
 今よりもっと悪い状態になったり弱い
 者同志で連帯感が出来たのでは
 ないかという意見も出されましたが、
 全体的に人情は薄くなっているという
 のがだいたいの意見でした。
 社会の動きで人の心も変わってしまう
 のだろうか……? いや人の心は社会の
 動きで変わってしまうはずはありませ
 ん。お互いが持ちつ持たれつ釜で生活
 していく上では人情を持っていくのが当
 然であると考えておいた方がいいです。
 ただ本当の意味での人情はマスコミで
 取り上げる人情とは違うのではないで
 しょうか? 今月はたまたま釜ヶ崎で人情
 についていわれるのを考えていきたいと
 思います。